

【別紙１】

滋賀県情報セキュリティ対策基準「委託事業者遵守事項」

（データおよび入出力帳票の管理）

第１ データおよび入出力帳票を県の外部で持ち運ぶ場合またはインターネットメール等により県へ送信する場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （１） 事前に県の許可を得ること。
- （２） 鍵付きのケースへの格納、暗号化、パスワードの設定など、不正利用の防止および機密性を保持するための措置を講ずること。
- （３） 盗難、紛失等のないよう厳重に管理し、委託事業者のシステム機器以外では取り扱わないこと。
- （４） インターネットメール等により県以外の外部に送信する場合は、パスワードは伝達せずに、あらかじめ受信者と合意したパスワードを設定するか、電話等の別手段を用いてパスワードを伝達すること。

第２ データおよび入出力帳票を取り扱う作業を行う場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （１） ファイル交換プログラムが記録されたシステム機器を用いないこと。
- （２） 取り扱ったデータおよび入出力帳票は、削除または県へ返却すること。

第３ データおよび入出力帳票が委託事業者以外の外部の者により、使用または閲覧されることがないように、離席および退室時においては、端末のロックや記憶媒体、入出力帳票の容易に閲覧されない場所への保管等を行わなければならない。

（ネットワークの接続制限）

第４ 委託事業者のシステム機器を県のネットワークに接続してはならない。ただし、県の許可を得た場合はこの限りでない。

（ウィルス等対策）

第５ コンピュータウィルス等の不正プログラム（以下「ウィルス等」という。）の対策に関し、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （１） ウィルス等対策プログラムを常時稼働させておき、委託事業者のシステム機器がウィルス等に感染していないか定期的に確認すること。
- （２） ウィルス等対策プログラムのパターンファイルは常に最新のものに保つこと。
- （３） 県とのデータまたはプログラムの受渡しを行う前には、必ずウィルス等チェックを行うこと